



TITLE:

# 南部産アカシガニ(ガザミ科)の頭 胸甲上に見られたカンザシゴカイ 類2種

AUTHOR(S):

内田, 紘臣; 久保田, 信

---

CITATION:

内田, 紘臣 ...[et al]. 南部産アカシガニ(ガザミ科)の頭胸甲上に見られたカンザシゴカイ類2種. 南紀生物 1998, 40(2): 165-166

ISSUE DATE:

1998-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188267>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

南部産アカシガニ（ガザミ科）の頭胸甲上に見られた  
カンザシゴカイ類 2 種

内 田 紘 臣\*・久保田 信\*\*

Hiro'omi UCHIDA\* and Shin KUBOTA\*\*: Two species of serpulid tube worms (Polychaeta, Serpulidae) on the carapace of a portunid crab, *Charybdis miles* DE HAAN from Minabe, Wakayama Prefecture, Japan

カンザシゴカイ科 (Serpulidae) は石灰質の棲管をもつことから、多毛類中にあるのはウズマキゴカイ科 (Spirorbidae) とともに、生態的に特異な地位を占め、海域汚損動物としても有名である。これらの中には、イシサンゴ類の骨格中に埋まるイバラカンザシ *Spirobranchus giganteus* (PALLAS) や、砂底で非固着生活をするツノガイダマシ *Ditrupea gracillima* GRUBE のように特異な基質や生活様式をもつものもある (内田, 1992) が、大部分の種は岩礁・礫・死貝殻等の表面に着生する。しかし通常はこのような基質に着生するものが、時として生きた動物上に着生することもしばしば観察される。(西, 1995: 久保田・EL-BOSSERY, 1998)。

今回、ガザミ科に属するアカシガニ *Charybdis miles* DE HAAN, 1835 1 個体の頭胸甲上に、カンザシゴカイ科に属する多毛類 2 種の着生が観察されたので報告する。

アカシガニは1998年3月7日、和歌山県南部町堺沖、水深約 200 m の底引き網漁で混獲された、甲長 67 mm、甲幅 97 mm の成体と思われるサイズの 1 匹で、捕獲時に右側の鉗脚および 2 本の歩脚が欠落していた。

着生していたカンザシゴカイ科多毛類は、左眼窩後方の原胃域に 1 棲管、またその左側方に破損した 2 棲管、さらに右眼窩外側に 1 棲管であった (図 1)。左側棲管は濁淡紅色、虫体は鰓冠長 4 mm、胸部長 3.5 mm、胸部幅 2.5 mm、腹部長 9.9 + mm、腹部幅 0.7 mm の *Spirobranchus latiscapus* (MARENZELLER)、右側棲管は濁淡黄土色、虫体は鰓冠長 2.3 mm、胸部長 2.2 mm、胸部幅 0.7 mm、腹部長 5.0 mm、腹部幅 0.6 mm の *Hydroides multispinosa* MARENZELLER であった。左眼窩付近の破損した 2 棲管はその形状から、*S. latiscapus* のものと思われる。

その他の着生動物として、右眼窩内にエボンガイ類 1 個体が見られるが (図 1)、未同定である。

*Spirobranchus latiscapus* (MARENZELLER, 1884)  
について

本種は、江ノ島水深約 100 尋および奄美大島名瀬産の多数の標本をもとに、*Pomatostegus* 属の一種として記載された種である (MARENZELLER, 1884)。その後わが国では、相模湾 63-74 尋 (MOORE & BUSH, 1904)、和歌山県白浜瀬戸崎沖 50 尋 (FAUVEL, 1936) で記録され、それ以後、伊豆〜種子島および小笠原の本州中部以南の南日本から報告されている。また国外では、ハワイから紅海、またオーストラリア・ニュージーランドのインドー西太平洋区およびその周縁域からの報告がある。

それらの報告のうち、他動物上に見つかった例は、モルジブの巻貝上 (PIXELL, 1913: *Spirobranchus maldiviensis*, n. sp. として)、オマーン湾の阿克キガイ科の貝殻上



図 1 アカシガニの左右両眼窩付近に着生するカンザシゴカイ類 2 種と未同定のエボンガイ類の一種

Fig. 1 A portunid crab, *Charybdis miles* with settlement of two species of serpulid tube worms (left *Spirobranchus latiscapus*, right *Hydroides multispinosa*) on the carapace of its orbital region. Off Minabe, near Shirahama, ca. 200 m deep, March 7, 1998.

\* 鯖浦海中公園研究所 (〒649-3514 和歌山県西牟婁郡串本町有田)  
Sabiura Marine Park Research Station, Arita, Kushimoto, Wakayama-ken, 649-3514, Japan

\*\* 京都大学瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海)  
Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Wakayama-ken, 649-2211, Japan

(MONRO, 1937: *S. maldiviensis* として), ハワイのウスクマサカガイ *Xenophora tenuis* とそれが付けている貝殻の上 (BAILEY-BROCK, 1972), 同じくハワイのタケノコガイ科の *Terebra* spp. (BAILEY-BROCK, 1972), 和歌山県太地町のタカアシガニ *Macrocheira kaempferi* の上 (UCHIDA, 1978) の 5 例が知られている。

本種は串本周辺の知見から, 砂礫質または貝殻質の水深 50 m 以深の海底に普通に見られ, 多くは礫または死貝殻上に着生している (内田, 未発表)。一方アカシマガニはわが国中部以南から中国〜インド沿岸に分布し, 水深 30~100 m の砂・砂泥・貝殻砂底に棲息し (三宅, 1983), 本種の生息環境と一致する。

### *Hydroides multispinosa* MARENZELLER, 1884 について

本種は江ノ島の低潮帯で採集された標本をもとに記載された (MARENZELLER, 1884)。以後本種はわが国沿岸のみで記録され, その産地は伊豆から九州沿岸におよんでいるが, 現在までの所, 生きた動物上からの報告はない。

本種はインド〜西太平洋区に広く分布するカサネカンザシ *Protohydroides elegans* (HASWELL, 1883) と, わが国周辺のみから知られる *Hydroides longispinosa* IMAJIMA, 1976 に酷似し, これら 3 種は殻蓋の棘上の小棘の長さや分布状態のみの相違によって区別可能で, その他の虫体の部分, 特に剛毛の形態に区別点を見いだせない (IMAJIMA, 1976)。なおカサネカンザシはアカシシモドキ *Carybdis riversandersoni* ALCOCK (ガザミ科) とシウジンガニ *Plagusia dentipes* DE HAAN (イワガニ科) への着生が報告されている (西, 1995; 久保田・EL-BOSSERY, 1998)。

### 引用文献

BAILEY-BROCK, J. H. 1972: Deepwater tube worms (Polychaeta, Serpulidae) from the Hawaiian Islands. *Pac. Sci.*, **26**, 405-408.

FAUVEL, P. 1936: Annélides polychètes du Japon. *Mem. Coll. Sci., Kyoto Imp. Univ., Ser. B*, **12**, 41-92.  
IMAJIMA, M. 1976: Serpulinae (Annelida, Polychaeta) from Japan. I. The genus *Hydroides*. *Bull. Natn. Sci. Mus., Ser. A (Zool.)*, **2**, 229-248.

久保田信・A. M. EL-BOSSERY. 1998: 汚損動物が異常なまでに着生した和歌山県白浜産のシウジンガニ (十脚目, 短尾類, イワガニ科). *南紀生物*, **40**, 121-122.

MARENZELLER, E. v. 1884: Südjapanische Anneliden. *Denkschr. Math.-Natur. Cl. Kaiserl. Akad. Wiss., Wien*, **49**, 197-224.

三宅貞祥. 1983: 原色日本大型甲殻類図鑑 (Ⅱ). 227 pp., 保育社, 大阪.

MONRO, C. C. A. 1937: Polychaeta. *John Murray Exped. 1933-34. Sci. Rep.*, **4**, 243-321.

MOORE, J. P. & K. J. BUSH. 1904: Sabellidae and Serpulidae from Japan, with descriptions of new species of *Spirorbis*. *Proc. Acad. Nat. Sci. Philad.*, **56**, 157-179.

西 栄二郎. 1995: アカシシモドキとイッカククモガニの甲羅に付着するカンザシゴカイ類について. *南紀生物*. **37**, 101-102.

PIXELL, H. L. M. 1913: Polychaeta of the Indian Ocean, together with some species from the Cape Verde Islands. The Serpulidae, with a classification of the genera *Hydroides* and *Eupomatus*. *Trans. Linn. Soc. Zool. Lond.*, **16**, 69-92.

UCHIDA, H. 1978: Serpulid tube worms (Polychaeta, Sedentaria) from Japan with the systematic review of the group. *Bull. Marine Park Res. St.*, **2**, 1-98.

内田紘臣. 1992: 環形動物門. 多毛綱. in 西村三郎編著. 原色検索日本海岸動物図鑑. pp. 310-373, 保育社, 大阪.